



今年度をふり返って

学校支援ボランティアによる学習支援活動の紹介

11月14日(月)に、学校BOUSAIデーを行いました。地域の方や保護者の方と一緒に、1・2年生は防災カルタ、3・4年生は防災すごろくと防災スリッパ作り、5・6年生はひなんじょなんナン?とストローハウス作りに取り組みました。特に、5・6年生は、地域の方や保護者の方と対話をしながら自分の考えを作り、考えを広げたり深めたりする経験ができました。

【児童の感想】

○ひなんじょなんナン?では、1つのテーマで話し合ったりして、みんなのそれぞれの意見が聞けた。大人の人からヒントをもらいながらみんなで考えた。例えばトイレです。トイレは人間目線から考えるけど、ペット目線からも考えないといけないと思った。

○ひなんじょなんナン?で、地域の人と話し合いをすることで、考えが広がった。トイレについての話し合いで、ペットのことを言っている人がいて、視野が広いなと思った。



1・2年 防災カルタの様子



5・6年 ひなんじょなんナン?の様子

R4年度の学校アンケートでは、「あなたは自分のいいところと言えますか」という設問に対し、3割の児童が「言えない」と回答をしています。また、「あなたは、思っていることや感じていることをきちんと言葉で表せますか」という設問に対しても、3割の児童が「表せない」と回答しています。**自己肯定感の向上**と**自己表現力の育成**が課題となっています。自分に自信がないと、自分から進んで気持ちや考えを伝えようという気持ちにはなれません。学校支援ボランティアの皆様が子どもたちに、「それでいいよ」「がんばったね」「すごい!」といった肯定的なメッセージを送っていただくことで、子どもたちは安心できます。

また、学校支援ボランティアの皆様と話すことで、子どもたちは多様な感じ方や考え方に会うことができるので、学びが広がったり深まったりします。これからもたくさんの方に学校に入ってください、一人でも多くの子どもに声をかけていただきたい、そして、子どもたちと話をしていただきたいと思っています。